

労務ROAD

社長が入れる労災保険のことなら

『葛城経営研究会』

詳しくは、06-6264-6543 まで！

河本社労士事務所

(編集担当: 伊藤)

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-9-26 船場 IS ビル 5F Tel: 06-6264-6264 Fax: 06-6264-6265

初出勤で従業員が気にする服装や持ち物

従業員にとって、初出勤は緊張するものです。特に服装や持ち物等については、事前に会社側から一言伝えておくだけで、初出勤の不安が軽減されると思います。そこで『初出勤に気を付けるべきこと』として伝えるポイントをご紹介しますので、ぜひ参考にしてみてください。『私たちも〇〇さんのご入社を心待ちにしているので、初日は、笑顔で元気に来てくださいね』とお伝えすれば、お互い気持ちよく初日を迎えられるのではないのでしょうか。

●**初出勤の服装**・・・制服があれば、問題ないのですが、私服の場合で、あまり華美な服装が好まれない場合は、

(例) 無地の白い襟付きシャツに派手過ぎない色のコットンパンツ、靴など、一般的なオフィスカジュアル

ビジネスにおいてドレスコードの NG マナーがあります。カジュアルなアパレル販売員などは例外ですが、基本的に「襟が無い/胸元が大きく開いているトップス」や「ジーンズ」「ミニスカート」「ハーフパンツ/ショートパンツ」「スニーカー」はビジネスシーンにおいて NG の服装とされています。社風として、全くの自由であれば、『特に規定はなく、好きな服装(あるいは動きやすい服装等)で良い』と、伝えると本人も安心すると思います。

●**初出勤の持ち物**・・・雇用保険の被保険者証や、年金番号、マイナンバーのわかるもの、印鑑(シャチハタ可・不可も含めて)といった手続きに要するものの他に、移動が多い職場であれば

(例) 腕時計、ボールペン、メモ帳

最近は、時計はスマホを見るという方も多いようですが、職場によってはスマホの持込みができないところもあります。ボールペンとメモ帳は、初出勤に仕事の内容、同僚の氏名、パスワードなど、覚えておく必要があることが多いため必需品といえます。

【参考記事: イーアイデム】

2018年 50代・60代の働き方に関する意識と実態

「役職定年」や「定年後の継続雇用」など中高年の就労における節目での働き方や収入の変化、定年制度に関する意識や実態などについての調査結果をご紹介します。就労者自身のライフプラン設計、さらには企業における高齢社員の一層の活躍に向けた取り組みの参考になれば幸いです。

役職定年について>> 4割の人の年収が半分未満にダウン、年収減となった人のうちの6割がモチベーション低下！

・役職定年の際の所属異動は、「なかった」人のほうが満足している割合が高い

・定年前正社員の8割が、定年後も働くことを希望

継続雇用について>> 50代は男女とも7割が「継続雇用」を希望！

・定年後も働いている理由のトップは、60代前半は「日々の生計維持」、60代後半は「生活のハリ・生きがい」

・完全引退(収入を伴う就労をやめること)をしたくない男女は4人に1人

・継続雇用者は会社から「専門知識・ノウハウの提供」「後進の指導・助言的役割」を期待されていると認識 —— 定年前正社員と変わらず ——

・人事考課のある継続雇用者のうちの6人に1人が、考課の結果は処遇に反映されないと認識

・定年直前に比べて年収が50%未満に減少している人は継続雇用者全体の4割

定年制度について>> 「あるほうが良い」と思う男性6～7割・女性5割！

・あるほうが良いと思う理由は「体力・健康面が衰えるから」、ないほうが良いと思う理由は「働きたいだけ働けるから」

【明治安田生活福祉研究所】

